

秋田港のコンテナ貿易 1本でもできる 海外との「宅配便」。

平成七年から始まった秋田港の国際定期コンテナ便による貿易が、このところ好調に取扱量を増やしています。平成十一年の取扱総本数(二十トコンテナ換算)は一万五千七百六十二本で、前年の一・五倍以上に増えました。

秋田港に就航しているコンテナ便の航路は現在、韓国・釜山港とロシア・ポシエト港の二航路。特に釜山港は国際的な貿易中継港となっていることから、釜山港を拠点に、中国、東南アジア、ヨーロッパ、北アメリカなどの貿易が広がっています。



ガントリークレーンで効率よくコンテナの積みおろし

